

小麦栽培情報 1 2月号

令和5年11月16日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【小麦】

1 播種

収量安定のため適期内（11月20日～30日）に播種し、適期より播種が遅れる場合は、生育量を確保するため、播種量を基準より2割程度増やして播種します。

2 排水対策

小麦は湿害に弱いため、降雨後の速やかな排水が重要です。明渠（周囲溝）や枕地作溝等により、排水対策を徹底します。うね溝と落水口をつなぎ、枕地で滞水しないようにします。



枕地作溝



落水口へつなぐ

3 麦踏み・土入れ

●麦踏み

麦踏みは、分げつ促進と耐寒性の強化、倒伏防止等の効果があります。麦3葉期から2月下旬頃の節間伸長開始期までに3～5回程度実施します（生育に応じて晩限は前後します）。ほ場が湿っていると、土壌を締めつけて、生育を抑制することがあるため、土壌が十分乾燥した状態で行います。

●土入れ

土入れは倒伏防止や雑草の抑制、排水対策などの効果があり、追肥後に行うと肥効が安定します。1月上中旬頃から3月上旬にかけて2～3回程度実施し、小麦の生育に合わせて土の量を増やします。また、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。なお、できるだけ麦踏み前に実施し、小麦が土に埋もれないようにします（麦踏み後に行う場合は生育が回復するまで空けます）。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（①適用作物、②使用量や希釈倍数、③使用時期や総使用回数、④有効期限）を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！